

大槌町立赤浜小学校

2014年 8月 5日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)
北林 雅洋(香川大学教育学部)

【文献】

(1) 2011年3月29日付朝日新聞DIGITAL

【場所】

大槌湾から約150mの位置にある。
住所:岩手県上閉伊郡大槌町
赤浜1-2-12

※現在は閉校し、被災した他の学校と合併して別の場所で新しく大槌小学校として再開した。



赤い範囲:大槌町

緑の範囲:赤浜小学校

【東日本大震災による被害】

津波により校舎1階天井まで浸水した。
現在校舎は取り壊され、体育館だけが残されている。(1)

【震災当日の様子】

地震は授業中に起きた。副校長が校内放送で避難を呼びかけようとしたが、音が途切れた。2階建て校舎の授業をしていた4つの教室を走って回り、校庭への避難を呼びかけた。校庭から海まで150メートル。津波のことは頭になかった。

体育館に向かうことを考えていた矢先、学校に避難誘導に来た児童の父親が「逃げる」と叫んだ。見ると、津波が目の前の防潮堤を越えていた。児童たちは正門脇の細い道を駆け上がり、高台に向かった。最後尾を走った校長はひざまで水につかった。叫んだ父親は波にのまれたが、流れてきた車によじ登り、家の屋根をつたって助かった。35人の児童らは先生や保護者たちに助けられて、津波に追われながら、間一髪で高台に逃れた。(1)

【調査して言えること】

学校の標高は12mほどであった。また、学校から堤防や海の様子を見ることができた。

学校横の道路から高台に登ることができ、200mほど登れば標高50mほどの高さまで行くことができる。現在高台には仮設住宅の団地がある。



赤浜小学校の体育館(2014/3/19撮影)



赤浜小学校の体育館と校舎跡(2014/3/19撮影)

赤い範囲:校舎のあった場所



学校から見た海(2014/3/19撮影)

赤い範囲:学校の敷地



高台へ続く道路(2014/3/19撮影)

赤い範囲:学校の敷地